【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和5年5月30日(2023.5.30)

【国際公開番号】ＷＯ2020/245133
【公表番号】特表2022-535093(P2022-535093A)
【公表日】令和4年8月4日(2022.8.4)
【年通号数】公開公報(特許)2022-142
【出願番号】特願2021-571882(P2021-571882)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ 31/4045(2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/22(2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/24(2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/30(2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/28(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ 31/4045
Ａ６１Ｐ 25/22
Ａ６１Ｐ 25/24
Ａ６１Ｐ 25/30
Ａ６１Ｐ 25/28

【手続補正書】
【提出日】令和5年5月22日(2023.5.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
（ａ）任意で、その薬学的に許容される塩を含むＮ,Ｎ-ジメチルトリプタミン、
（ｂ）その薬学的に許容される塩を含む、α位に２つの重水素原子を有する重水素化Ｎ,Ｎ-ジメチルトリプタミン化合物、及び
（ｃ）その薬学的に許容される塩を含む、α位に１つの重水素原子を有する重水素化Ｎ,Ｎ-ジメチルトリプタミン化合物、
から本質的になる重水素富化混合物であって、
実質的な量のα,α,β,β-テトラデューテロ-Ｎ,Ｎ-ジメチルトリプタミンを含まない、重水素富化混合物。
【請求項２】
Ｎ,Ｎ-ジメチルトリプタミンを含む、請求項１に記載の重水素富化混合物。
【請求項３】
α位に２つの重水素原子を有する重水素化Ｎ,Ｎ-ジメチルトリプタミン化合物が、α,α-ジデューテロ-Ｎ,Ｎ-ジメチルトリプタミン及びその薬学的に許容される塩である、請求項１又は２に記載の重水素富化混合物。
【請求項４】
２重量％以上の、α,α-ジデューテロ-Ｎ,Ｎ-ジメチルトリプタミン、又はその薬学的に許容される塩を含む、請求項３に記載の重水素富化混合物。
【請求項５】
α位に１つの重水素原子を有する重水素化Ｎ,Ｎ-ジメチルトリプタミン化合物が、α,β,

β-トリデューテロ-Ｎ,Ｎ-ジメチルトリプタミン、α,β-ジデューテロ-Ｎ,Ｎ-ジメチルトリプタミン、α-デューテロ-Ｎ,Ｎ-ジメチルトリプタミン、及び、これらの化合物の薬学的に許容される塩からなる群より選択される、請求項１～４のいずれか１項に記載の重水素富化混合物。

【請求項６】

α-デューテロ-Ｎ,Ｎ-ジメチルトリプタミン、又はその薬学的に許容される塩を含む、請求項１～５のいずれか１項に記載の重水素富化混合物。

【請求項７】

（ｂ）その薬学的に許容される塩を含む、α位に２つの重水素原子を有する重水素化Ｎ,Ｎ-ジメチルトリプタミン化合物、及び

（ｃ）その薬学的に許容される塩を含む、α位に１つの重水素原子を有する重水素化Ｎ,Ｎ-ジメチルトリプタミン化合物

を、合計で５０重量％以上含む、請求項１～６のいずれか１項に記載の重水素富化混合物。

【請求項８】

Ｎ,Ｎ-ジメチルトリプタミン、α-デューテロ-Ｎ,Ｎ-ジメチルトリプタミン、及び、α,α-ジデューテロ-Ｎ,Ｎ-ジメチルトリプタミン、並びにそれらの薬学的に許容される塩の混合物

から本質的になる、請求項１～７のいずれか１項に記載の重水素富化混合物。

【請求項９】

混合物中に存在するＮ,Ｎ-ジメチルトリプタミン、α-デューテロ-Ｎ,Ｎ-ジメチルトリプタミン、及び、α,α-ジデューテロ-Ｎ,Ｎ-ジメチルトリプタミンの平均分子量が、１８８．２８～１９０．２８である、請求項８に記載の重水素富化混合物。

【請求項１０】

ＨＰＬＣによる純度が９９％以上である、請求項１～９のいずれか１項に記載の重水素富化混合物。

【請求項１１】

ＨＰＬＣによる純度が９９．９％以上である、請求項１０に記載の重水素富化混合物。

【請求項１２】

（ａ）任意のＮ,Ｎ-ジメチルトリプタミン、

（ｂ）α位に２つの重水素原子を有する重水素化Ｎ,Ｎ-ジメチルトリプタミン化合物、及び

（ｃ）α位に１つの重水素原子を有する重水素化Ｎ,Ｎ-ジメチルトリプタミン化合物

が、薬学的に許容される塩の形態である、請求項１～１１のいずれか１項に記載の重水素富化混合物。

【請求項１３】

薬学的に許容される塩がフマル酸塩である、請求項１２に記載の重水素富化混合物。

【請求項１４】

請求項１～１３のいずれか１項に記載の重水素富化混合物を、薬学的に許容される賦形剤と組み合わせて含む、医薬組成物。

【請求項１５】

治療に使用するための、請求項１～１３のいずれか１項に記載の重水素富化混合物、又は請求項１４に記載の組成物。

【請求項１６】

患者の精神認知障害の治療方法において使用するための、請求項１～１３のいずれか１項に記載の重水素富化混合物、又は請求項１４に記載の組成物。

【請求項１７】

精神認知障害が（ｉ）強迫性障害、（ｉｉ）うつ病性障害、（ｉｉｉ）不安障害、（ｉｖ）薬物乱用、及び、（ｖ）意欲消失障害からなる群より選択される、請求項１６に記載の使用のための重水素富化混合物、又は組成物。

【請求項１８】
前記障害が大うつ病性障害である、請求項１７に記載の使用のための重水素富化混合物、又は組成物。
【請求項１９】
前記障害が治療抵抗性うつ病である、請求項１８に記載の使用のための重水素富化混合物、又は組成物。